

小中学生の授業

●[国語]

国語の授業の中心となるのは「長文読解」です。いくら漢字を覚えても、使わなければ忘れてしまいます。週に決まった数の漢字や語彙・ことわざなどを覚えながら、長文を読みこなすことによって論理的思考力をつけ、同時に語彙力の定着をはかります。作文については、1年に前期・後期の2回、作文教室を開講します。(作文教室案内参照)

●[数学](中学生)

文部科学省のカリキュラムに沿いながら、塾専用のテキストを用い、教科書レベルの基礎から、受験に対応した応用・発展まで行います。帰国子女入試といえども、9割の学校が一般と同じ問題を課します。当教室の授業でも、日本の教室の生徒たちが学んでいるレベルまで授業をしていきます。

●[算数](小学生)

文科省のカリキュラムに沿いながら、塾専用のテキストを用い、教科書レベルの基礎から、応用まで行います。小学校5年・6年では、「算数」の授業と別に「受験算数」の授業が設置されています。

[受験算数について (小5・小6)]

9割の帰国子女受け入れ私立中学では、一般入試と同じ問題が課されますが、この一般入試には「文科省指導要領外」の範囲から多くの問題が出題されます。当塾の「受験算数」では、この「指導要領外」の単元を行います。

●[英語](中学1年生から)

当塾では、中学1年生から、「英文法」を中心とした英語の授業を行います。特に重点を置くのは、帰国子女の子供たちがもっとも不得意とする「英文法」と「日本語と英語の転換」です。

クラス	対象	レベル
英語 A	中1～中2で初めて英文法を取る生徒	中学レベル、及び TOEFL 対策
英語 B	英語 A を終えた生徒	中3レベル、及び TOEFL 対策
英語 C	中3～高2で初めて英文法を取る生徒	高校最重要文法、及び TOEFL 対策
英語 S	今年度、SATを受験する生徒	SAT 対策、入試対策、英文和訳・和文英訳